

## 提言書まとめに当たっての挨拶

この会議は、「上田市教育行政のあり方について、立場を離れ市民の目線に立って自由に議論する」という市長の提案と市議会の承認に基づき、14名の委員が委嘱を受け、市長部局に上田市教育行政のあり方を考える有識者会議が設置されました。

上田市教育行政について、真正面から様々なテーマを取り上げ、提言を含む議論を行なってまいりました。まさに議論百出、百家争鳴の様相を呈し、激論が交わされました。

委員各位においては、昨年1月以来、およそ1年半にわたり実質審議12回、提言書まとめの審議2回、併せて14回合計30数時間に及ぶ会議に熱心に取り組んでいただきました。また、会議終了後も更にまとめのために2度にわたる修正意見をいただき、それに基づいて市長への提言書を作成いたしました。

これをもって8月1日に座長から市長に提言いたします。

提言書まとめの過程において、様々な意見を併記し、修正した最終原案について、大方の委員の支持を頂戴しました。中には、改革的な提言者を含む委員の方々から、内容について強い不満と疑義が寄せられましたが、大局的な見地から反対論を併記した最終原案に御賛同をいただきました。

しかしながら、他方、特に学校選択制度と学校利用券制度については両論併記にもかかわらず、強い反対の姿勢を示された方々がおられました。とりわけ、終始会議に参加いただいた委員のうち3名の委員は、このテーマについて最後まで提言そのものに反対されたことを明記し、これらの意見を尊重して、提言書にも付記させていただきました。

提言書のまとめについては、最終的に正副座長と事務局に一任いただいておりますことと、設置要綱により座長の責任において、まとめさせていただきました。

最終会議で申し上げた私の挨拶の一部をもって、最後の御挨拶に代えさせていただきます。

『激しい議論のしこりを残さないで、互いに感情的なものは水に流していただければと存じます。本日まで、様々な誤解や偏見や不当な誹謗中傷を浴びながらも、14名の委員の皆さんには熱心に御協力いただいたことに対して、改めて敬意と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。(平成20年7月11日第14回会議座長挨拶より)』

平成20年8月1日

上田市教育行政のあり方を考える有識者会議

座長 戸田忠雄